

2020年6月19日
株式会社フジテレビジョン
株式会社産業経済新聞社

「FNN・産経新聞 合同世論調査」における一部データの不正入力について

FNN(フジニュースネットワーク)と産経新聞社が合同で行う世論調査において、調査業務契約先による一部データの不正入力があったことが明らかになりましたのでお知らせいたします。

データの不正入力を行っていたのは、調査業務委託先の「株式会社アダムスコミュニケーション(本社:東京品川区)が業務の一部を再委託していた「日本テレネット株式会社」(本社:京都市中京区)のコールセンター現場責任者です。

FNN・産経新聞合同世論調査は、電話による質問に対する回答を集計する形で行いますが、問題のデータ不正入力は、実際には電話していないにも関わらず、架空の回答を入力する形で、2019年5月から2020年5月まで、計14回の実施分で行われていました。

上記期間中、調査1回約1000サンプルにつき、100数十サンプルの不正が見つかり、14回の不正な合計は約2500サンプルありました。

フジテレビは問題の期間の世論調査結果及びそれに関連する放送は取り消します。産経新聞は世論調査14回分の記事をすべて取り消します。視聴者・読者・関係者のみなさまの信頼を裏切ったことを、こころよりお詫び申し上げます。

フジテレビコメント

「今回、委託先からの不正なデータをチェックできず、誤った情報を放送してしまった責任を痛感しております。今後、継続して調査・検証を行い、その結果に沿って、然るべき処置を行ってまいります」

産経新聞社コメント

「報道機関の重要な役割である世論調査の報道で、読者の皆さまに誤った情報をお届けしたことを深くおわび申し上げます」